

対 象	調べる時期	かかる日数
低～高学年向け	7・8月	1日

魚の骨格標本を作ろう

身近な魚の骨の形や骨格の構造を知り、ひれや体の動きとの関係を調べよう

1 準備するもの

- ・身近な魚（全長 20～30cm のタイ、アジ、カレイ、アユなど）1尾
（スーパーなどで販売している、内臓、エラをのぞいた調理済みのものでも良い）
- ・鍋（魚全体が入る大きさのものが良いが、魚が大きい場合は半分に切って入れる）
- ・キッチンペーパー、わりばし、つまようじ、歯ブラシ、のり（ボンド）
- ・紙（魚全体が書ける大きさ）、ペン

2 手順

- ①魚をまな板の上におき、よく観察して、紙にこの魚の絵をかたんに書きます（魚全体の大きさや、頭やひれの位置が同じになるように）。
- ②魚1尾をキッチンペーパーで包んで、魚全体がひたるぐらいの水とともに鍋に入れ、弱火で15分ほど煮ます。
- ③鍋が冷えたら、魚の形をくずさないように、まな板の上に取り出します。
- ④ウロコ、皮、肉、内臓、ひれを手や割りばしを使って取り除きます。
- ⑤頭と背骨だけになるようにし、頭だけを切り離します。
- ⑥骨についた小さな肉片や皮は、水を流しながら歯ブラシやつまようじで取り除きます。
- ⑦骨についた水分を紙などで吸い取り、かわかします。
- ⑧事前に紙に書いておいた魚の絵にのりで背骨を張り付けたら完成です。
 - ・ひれとひれについている骨がきれいに残っていたら、そうじをして乾かし、絵に張り付けたら、いっそう実物に近づくよ。
 - ・頭は骨の形がふく雑なので、組み立てるのがむずかしい。ばらして骨の形や口、歯の構造を観察しよう。

3 調べたいこと

- ・背骨を中心に骨の形や本数、骨格を調べ、ひれなど体の動きとの関係を調べる。

4 探求のヒント

- ・骨の形や骨格、ひれがその魚の泳ぎにどう関係しているかなどを考えてみよう。
- ・いろいろな魚の骨格標本を作り、種類ごとに形や構造が違っていることを観察しよう。

5 注意事項

- ・事前にインターネットなどを利用して、魚の骨格やひれについて勉強をしておこう。
- ・鍋で魚を煮ている途中、やけどに気をつけよう。
- ・作業中、ときどき写真をとると、どこの骨が分からなくなった時に役立つよ。

対 象 低～高学年向け	調べる時期 7・8月	かかる日数 1日
----------------	---------------	-------------

6 まとめ方

- ・骨の形や本数、骨格、ひれの特ちょうなどを観察し、体の動きとどのような関係があるのかなど、骨やひれの構造と役割についてまとめてみよう。
- ・何種類かの魚の骨格標本をつくって、その特ちょうをまとめよう。

7 参考資料／見本（番号は手順の番号を示す）



①

②

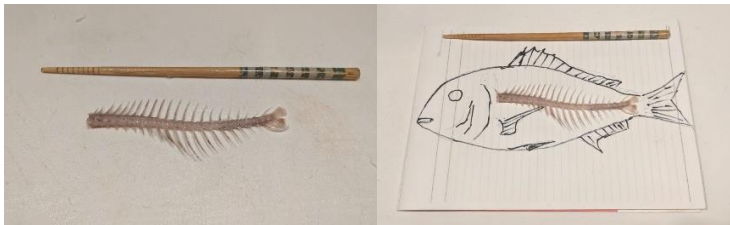
③



④-1

④-2

⑤



⑥⑦

⑧